

ボランティアだより

令和6年3月
第18号

活動に対する思いを教えてください。

みなさんにとって「ボランティア活動」とはどういったものでしようか？

「誰かのために一生懸命尽くすこと」「自分が楽しむことが一番」「日常の中でも無理なく続けていくこと」…いろいろな思いをお持ちだと思います。

今回はベルマークや使用済み切手のご寄付、また社協に手芸作品のご寄付もくださっている、早瀬区の中島エリ子さんにお話を伺いました。



今回社協にご寄付くださったアーム
バーム。「布団などの古布で作りました。使つ
ていただけたら嬉しいです。」

どういったきっかけで、

活動を始めたのですか？

以前は配食ボランティアとして活動して
いたのですが、足の調子が悪くなつて積極
的に活動することが難しくなりました。そ
んな中でも「誰かの役に立つことを続けて
いきたい」、そして「今の自分にできること
をしよう」と思ったことがきっかけです。

「自分ができることを、楽しみながらやる」
その気持ちが、継続的な活動につながつてお
られるのだと感じました。

美浜町社協では「ボランティア喫茶はあと
ステーション」「おでかけワゴン」などのボラ
ンティアさんを引き続き募集中です。

また、使用済み切手等の回収も行っていま
す。みなさんの生活スタイルに合わせて、無
理なく参加いただけたら嬉しいです。

これからることを教えてください。

今はとにかく毎日楽しいです！自分の健康と
周りの人たちの存在に感謝しながら、自分にでき
ることを楽しみながら続けていきたいと思います。

自分で「身軽すぎる」と思うこともあるけど、い
ろんなことをやってみる…という気持ちも大切だ
と思っています。そういうしているうちに、あつ
という間に90年以上が経つていました（笑）



地域の思いを地域で活かす！

『みんなの食堂』のとりくみ



美浜町内では現在5か所で、誰もが集まって一緒にご飯を食べる「みんなの食堂」の活動が少しずつ広がっています。集落のみんなの楽しむ笑顔が見たいと、住民の方々が自発的に活動に取り組み、定期的な開催につながっています。

そんな活動にボランティアで参加されている小西陽子さん（河原市）にお話を伺いました。

子どもが大きくなると集落の人たちとの関わりが減り、さらにコロナがきっかけで集まりや行事が開催されなかつたのでますます疎遠になってしましました。河原市つ子食堂には、交流の場として楽しみながら参加しています。

若いお母さんたちは、子どもを見ながらよく動いているなあとか、若いお父さんたちも子どもたちの面倒をみながらよく遊んでくれているなあとか、いろいろな気付きがあります。

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや、損害賠償責任を補償します。

	基本プラン	天災・地震補償プラン
年間保険料（加入日翌日～3/31）	350円	500円
補償例（死亡）		1,040万円
（入院保険金日額）	6,500円	
（通院保険金日額）	4,000円	

詳しくは右記のQRコードから、パンフレットをご覧ください。ご不明な点は、お気軽に美浜町ボランティアセンター（下記）までお問い合わせください。



■ボランティア活動への参加、お問合せなどはこちら■

美浜町ボランティアセンター（美浜町社協内）

美浜町郷市 25-20 電話：32-1164 FAX:32-5915

子どもたちも調理を手伝っているところが楽しそうですごくいいなと思いますし、みんなで食事をすることで、子どもたちの元気いっぱいの笑顔が見られるのはとても嬉しいです。とても楽しかったのでまた参加したいですし、今回は若い世代の参加が多かったので、様々な世代の方の参加があるといなと思います。とても楽しかったのでまた参加したいです、今は若い世代の参加があるといなと思います。

「河原市つ子食堂」に協力しておられる
区民の方々。
右から2番目が小西さん。

